

2009年8月29日（土）
13：30～16：30
大阪YMCA会館 2Fホール

ロータリー財団委員会
委員長

福家 宏

(八尾中央RC)

各クラブの会長、幹事、財団委員長を対象とした地区ロータリー財団セミナーは、大谷Gはもとより、松本GE、岡部GN、AG、AGEならびに財団部門指導者として近藤PG(2億ドルのチャレンジ委員) 井上PG(財団ゾーンコーディネーター)にご出席頂きました。今回は終了後に地区研修委員会からのメッセージの時間が設定されていたので地区研修委員会リーダーの戸田PGはじめ神崎PG、横山PG、研修委員のご出席もあり、出席者は270余名に上りました。司会は四宮地区代表幹事が務められました。

大谷G

「世界のために良い事をしよう」というロータリー財団の始まり、財団の目指すもの(清潔な水、飢餓貧困の解消、識字率向上、病の克服、ポリオ根絶)、それは「武力によらない平和」の実現へと繋がっていくものだという事、財団への支援は日本が国際正義の実現や世界平和の達成にも寄与しているのだという国際的感覚をロータリアンは身につけるべき、などを説かれました。

地区財団委員長

ロータリー財団(TRF)の成り立ち、RIとの関連、目覚ましい発展と奉仕の歴史、財団プログラムの種類と内容、国際ロータリーとロータリー財団とロータリアンとの関係などをお話しし、「未来の夢計画」に触れた後、ロータリーの2億ドルチャレンジのご説明とご協力のお願いを致しました。

1. 教育的プログラム部門

井上暎夫財団ゾーンコーディネーターから、教育的プログラムは基本的かつ重要なプログラムと認識すべきこと、プログラムを終えた財団学友を2007年規定審議会はロータリー・クラブの正会員とすることを認めたことを述べられ、学友をロータリーに迎え入れることへの支援と、大阪ネクストロータリークラブへの引き続いての理解を要請されました。

続いて山下勝弘財団奨学金・学友委員会委員長は、国際親善奨学生のおくみや派遣の実際、制度の変化について話され、世界平和フェロシップ、PSCとPSCが母体となるRCにも言及されました。このあとPSCとしてバーミンガム国際大会学友記念行事に派遣された杉浦功一氏からスライドで大会の様子が示され、意義ある参加だったとの報告がありました。



これに続いて吉川邦英研究グループ交換委員会委員長から当地区のGSEへの取り組み、今年度の派遣情報、今後の事業予定が紹介され、今年度フランスに派遣された野村正勝団長と山本茂雄団員が素晴らしい体験談をスライドを用いて報告されました。

2. 人道的プログラム部門

山口勝之財団法人道的補助金委員会委員長が、補助金の利用度の推移、授与のための条件、種類、用途、申請の方法、ロータリアンの責務などについて、地区補助金とマッチング・グラントを中心に分かりやすく解説されました。

3. 情報・増進委員会

大竹洋一郎委員長は、①財務状況解説、一部補助金の中止 ②信頼と一致協力の必要性 ③寄付に関する解説とデータの開示 ④寄付の要請：年次寄付13,000円以上、ポリオ撲滅寄付4,000円以上 ⑤エステス管理委員長メッセージの紹介 ⑥ロータリー・カードの解説とカード入会要請、などが行なわれました。

このあと新谷秀一ロータリー財団部門顧問より、他の委員長と異なり向後3年間の任期を務める地区財団委員長への激励を頂き、大谷Gの説かれたことの実現に向け努力するようにとのお話しを頂きました。最後に松本新太郎GEの閉会のご挨拶をもって、盛大な財団地区セミナーは閉会しました。

